

平成 29 年度黒部市総合教育会議 議事録

開会年月日
会場

平成 29 年 11 月 24 日（金）午後 3 時 30 分～4 時 15 分
黒部市役所 202・203 会議室

出席者
（6 人）

市 長 堀内 康男
教育長 国香 正稔
教育委員 熊野 勝巳（教育長職務代理者）
川崎 正美
前田 潤
加藤 昌弘

出席職員
（13 人）

<市長部局>
総務企画部長 御田 泰晃
総務部次長・総務課長 魚谷八寿裕
総務課 行政係長 武隈 涉
<教育委員会事務局>
教育部長 長田 行正
事務局次長・学校教育課長・学校給食センター所長 鍋谷 悟
生涯学習課長 西中 雅博
スポーツ課長・フルマラソン推進班長 橋本 正則
図書館長 中谷 松憲
こども支援課長 藤田 信幸
生涯学習課 ジオパーク推進班長 川添 礼子
生涯学習課 生涯学習施設建設推進班長 島崎 豊
図書館 図書館構想推進班長 川端左起子
学校教育課 主幹・課長補佐・庶務係長 神保 竜

会議開始

午後 3 時 30 分

事務局

総合教育会議を開会する。開会にあたり市長から挨拶をいただく。

市長

本日、総合教育会議を招集したところ、委員には、定例教育委員会に続き、参集賜わった。総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により設置され 3 年度目となる。

この会議は、市長と教育委員会が、一層強固な関係を構築し、お互いが意思疎通を図り共通認識のもと教育行政を進めていくための場と考えている。

なお、教育行政は、学校教育、生涯学習、芸術・文化、スポーツ振興のほか、婚活に関する事業、ジオパークの推進、(仮称)くろべ市民交流センターなど幅広い。

忌憚のないご発言のもと、会議が有意義のものとなるよう期待している。

(以降の進行は、市長による)

市長

次第に基づき進めていく。はじめに、「黒部市教育大綱の見直し(案)」について、事

務局から説明願いたい。

事務局

(以下、説明概要)

- ①現在の「大綱」は、平成 27 年の地教行法改正により策定が義務付けられ、H28 年 2 月に策定し今日に至る。
- ②対象期間を第 1 次黒部市総合振興計画の最終年度と合わせたことにより、今年度が最終年度となる。今回は、H30 年度以降を対象とした「大綱」に改める。
- ③「大綱の位置づけ」では、現在策定中の第 2 次総合振興計画との整合を図る。
- ④今年度、教育委員会が所管となった「(仮称) くらべ市民交流センター建設基本構想」を明記。
- ⑤「大綱の対象期間」は、新たな期間として平成 30 年度から 34 年度とする。
- ⑥「大綱の理念」は、総合振興計画の教育にかかる「まちづくり方針」と統一する。
- ⑦「理念を達成するための基本目標」では、文言の整理とあわせ、新たに結婚支援の推進に関する記述を追記する。
- ⑧「当面の課題と取組」は、図書館に関する記述を「(仮称) くらべ市民交流センター」に改める。

市長

改正内容は、教育委員会で議論が重ねられたと伺っている。要となる改正部分について、確認し決定してまいりたい。

(以下、了承された主な改正点)

○大綱の対象期間

- ・第 2 次黒部市総合振興計画の前期計画の期間とし、平成 30 年度から平成 34 年度の 5 年間とする。

○大綱の理念

- ・第 2 次黒部市総合振興計画の教育に関するまちづくり方針との整合を図り、『豊かな心と生きがいを育み、人が輝くまちづくり』とする。

○当面の課題と取組

- ・新たに (仮称) くらべ市民交流センターに関する記述を追加する。

以上のとおり、平成 30 年度以降の「黒部市教育大綱」を決定する。

(※決定内容をもって書類作成後、作成権者の市長決裁をもって確定。)

市長

次に「黒部市教育行政に関する意見交換」を行いたい。教育大綱で示す当面の課題や、取組、教育関係予算などについてご発言いただきたい。

委員

◎職員の多忙化緩和について

*小学校：スタディ・メイトの配置など、手厚い対応に感謝している。

*中学校：要因として生徒指導と部活動があげられる。

- ・生徒指導では、不登校生徒への対応が大きなウェイトを占める。非常勤講師の配置など人的手当が望まれる。部活動では、土日対応の負担が大きい。外部指導者導入策もあるが、部活動全体のクラブチーム化も対策のひとつと考える。

市長

○教職員の多忙化は社会問題となっている。不登校対策については、統合による影響も考えられ、解決すべき課題として、できるだけ対策を講じていきたい。

	○部活動は、1校では成立しない競技があるなど、少子化の中で部活動のあり方が問われている。クラブチームも含め研究していく必要がある。
委員	◎総合体育センターの改修について *部活動の拠点施設となりうる施設であり、計画的に改修をお願いしたい。
市長	○市を代表する施設であり計画的な改修を行い、長寿命化に努めていきたい。
委員	◎英語検定料補助金（平成29年度導入）について *受験率の向上に成果が見られた。過去は、約40%で推移。今回、第3回検定前の段階で43%を超え過去最高。
市長	○成果が上がっており継続したい。可否結果が出た際の合格率・取得率にも期待したい。
委員	◎図書館の蔵書の充実について *蔵書冊数に占める新刊図書の割合を高めることが大切であり、購入費について配慮願いたい。
市長	○蔵書の充実は、図書館の生命線でもある。前向きに検討したい。
委員	◎子育て世代の利用者への対応について *利用者増進策として「赤ちゃんタイム」を設け、乳幼児を伴う多くの親子連れが来館している。乳幼児に対応した設備整備（授乳やオムツ交換スペースなど）について検討いただきたい。黒部館では、乳幼児対応室のエアコン改修が必要。
市長	○子育て世代への対応はしっかりしていかなければならないと認識している。来館者に対する快適な利用空間として、設備改修について検討したい。
委員	◎(仮称)くろべ市民交流センターについて *今後、管理運営計画の策定が進められるが、図書館の効率的な運営には除籍担当職員の配置が必要と考える。
市長	○計画では、平成34年度以降に完成することになる。職員配置も含め、管理運営計画のなかでしっかりと検討していきたい。
委員	◎中学校統合にかかる施設整備について *宇奈月・桜井統合中学校の校舎が完成し、大変すばらしい中学校となった。鷹施・高志野統合中学校の施設改修について、できる限りの配慮をお願いしたい。(普通教室や特別支援教室、少人数指導教室、空調設備、多目的トイレなど)
市長	○改修のコンセプトとしては、現桜井中と同様の考え方で進め、施設の機能面は充実させたいと考える。グラウンドには全天候型の走路を設けるなど、同等の環境は整えていきたい。外観（見栄え）については、新築同様ということは難しいが、一定レベルの改修を施す予定。

委員	<p>◎吉田科学館のトイレ改修について</p> <p>*建築後30年余りが経過しており、照明の照度改善、換気扇や蛇口の更新、段差の解消など、トイレの改修をお願いしたい。快適な施設にすることにより、来館者も増える。</p>
市長	<p>○吉田科学館のトイレについては、気にかけていたところ。最近ではドーム屋根の補修、プラネタリウムのデジタル化など、順番に改修してきた。ジオパークの拠点施設でもあり、今後は、施設機能について見直していく時期である。</p> <p>○来館者の増進の観点では、YKKのセンターパークとの連携による相乗効果を図ることにより、吉田科学館の役割も一層重要になってくると考える。</p>
委員	<p>◎立山黒部ジオパークの推進について</p> <p>*看板が足りないように感じる。市外のお客さんだけでなく市民に対する一層のPR、啓発活動を望む。</p> <p>*ジオサイトということで、貴重な地域資源である。ユネスコの世界認定を望む。</p>
市長	<p>○看板については、現実的な課題として認識している。分かりやすく興味を持ってもらえるような看板の設置は必要と考える。支援自治体の中でも、本市が模範となれるよう努めてまいりたい。</p> <p>○世界認定については、もう少し先になる。まずは、日本ジオパークの再認定申請が平成30年度に控えており、しっかりと取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>◎少人数学級選択にかかる臨時教員の配置について</p> <p>*現在、県の制度として、小学3・4年生で少人数学級(35人以下)を選択できることになっているが、教員の加配措置は1人となっている。県への加配要望と合わせ、独自対応として臨時教員1人の配置をお願いしたい。</p>
市長	<p>○加配については、県教委に要望しているが、難しい状況といえる。3年生から4年生になるときに1クラスに戻るのも、どうかと考える。選択肢としては、市単対応もありうると考えるが、学校の意見もよく聞きながら判断してまいりたい。</p>
委員	<p>◎就学援助金、奨学金制度について</p> <p>*就学援助にかかる入学準備金については、入学前の給付についていち早く対応していただいた。</p> <p>*奨学金については、高校生に対する給付金について、人数的な部分での拡充をお願いしたい。</p>
市長	<p>○奨学金は、国の動向もあり注目されている。家庭の経済的な問題で教育に差が出るようなことはあってはならないと考える。少子化によって地域に与える影響は大きい。教育環境整備の中でしっかりと考えていきたい。市の有効求人倍率は2を超えており、市内事業所においては人材確保に苦慮している。しっかりとした教育を受け、地元に戻っていただき、地域社会を担ってもらう意味でも、奨学金制度は維持していきたい。</p>
委員	<p>◎学校給食センターについて</p> <p>*県内外で異物混入が問題となっている。子どもの安心・安全に関わる問題であり無視</p>

できない。幸い、市内では問題は発生していないが、一層の万全を期すために、ドックシェルターを設置していただきたい。

市長

○平成23年に現在の施設が完成した。搬入口4か所のうち2か所が設置済みとのことである。過去の経緯も確認し判断させていただきたい。

(意見交換終了)

市長

予定していた事項は、以上となる。進行を事務局に返したい。(市長の進行終わり)

事務局

教育長が閉会あいさつを申し上げる。

教育長

(閉会あいさつ)

閉会